

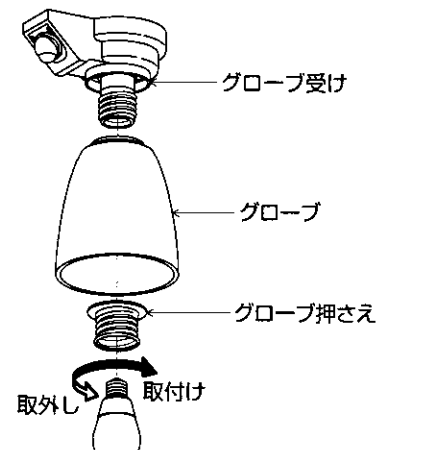
■電球形蛍光ランプ使用上のご注意

- 点滅を頻繁に繰り返す場所ではランプ寿命が短くなりますので不向きです。
- 点灯直後は暗く約30秒で明るくなります。
- 点灯直後約20分間は明るさや光色が若干変化します。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。 △注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。	3 新しいランプを取付ける ランプの取付けは丁寧に、確実にソケットに行なってください。落下によるけがの原因になります。 4 使用済みのランプは 必ず市区町村の指示に従い、処理してください。
1 電源を切る 2 古くなったランプを取外す	※白熱ランプは使用できません。

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る 2 ランプ・グローブを取外す ランプを取外し、グローブを支えながらグローブ押さえをゆるめて取外す。 3 グローブ・ランプを取付ける グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。ランプを取付ける。	
--	---

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
< 保証について > - 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 - 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 - ランプ・グロー・点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 - 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 - 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 - 施工上の不備に起因する故障や不具合 - 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 - 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 - 保証書は日本国内においてのみ有効です。 - 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		<アフターサービスについて> - 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 - 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 - 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 - 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.	
保証期間(お引き渡し日より)	お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
本体: 1年間 安定器: 3年間			
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

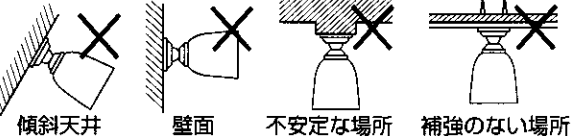
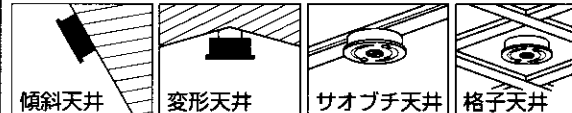
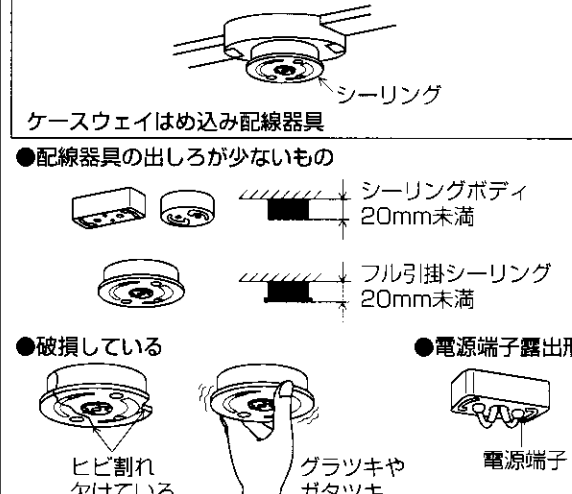
型番 BHN8508SB

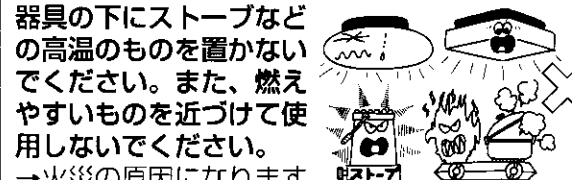
お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にに行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		
⊘ 禁止	このような場所には取付けないでください。この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。 	⊘ 禁止	下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		⊘ 禁止
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		⊘ 禁止
⊘ 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。	⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。 

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
⊘ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
⊘ 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	⊘ 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。 
⊘ 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	⚠ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 사용하지しないでください。 →火災・感電の原因になります。

取説No. M101-190 NN/S・T

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
BHN8508SB	AC100V	50/60Hz 共用	11W	EFA15形(E26)×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。

※埋込ローゼット・フル引掛ローゼットの場合は、工事店・電器店へ配線器具の交換を依頼してください。



シーリングボディ



フル引掛シーリング



埋込ローゼット



フル引掛ローゼット

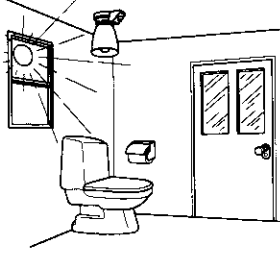
2 設置場所を確認する

• 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。



太陽光線や強い光が入る場合は、誤作動することがあります。
センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。



トイレ・浴室一体のユニットバスなど、蒸気や熱気が直接センサに入る場所には取付けないでください。



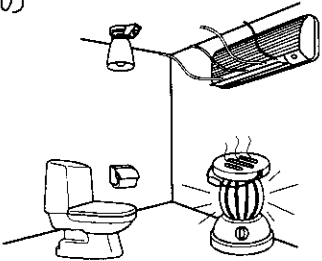
感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの(植木、カーテン)のある場所には取付けないでください。



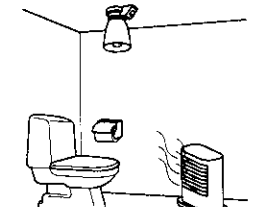
センサ感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



ストーブなどの高温熱源付近やエアコンなどの風のあたる場所には取付けないでください。



温風ヒーターなどがあり、急激に温度が変化する場所には取付けないでください。



• 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

4 壁スイッチを設ける

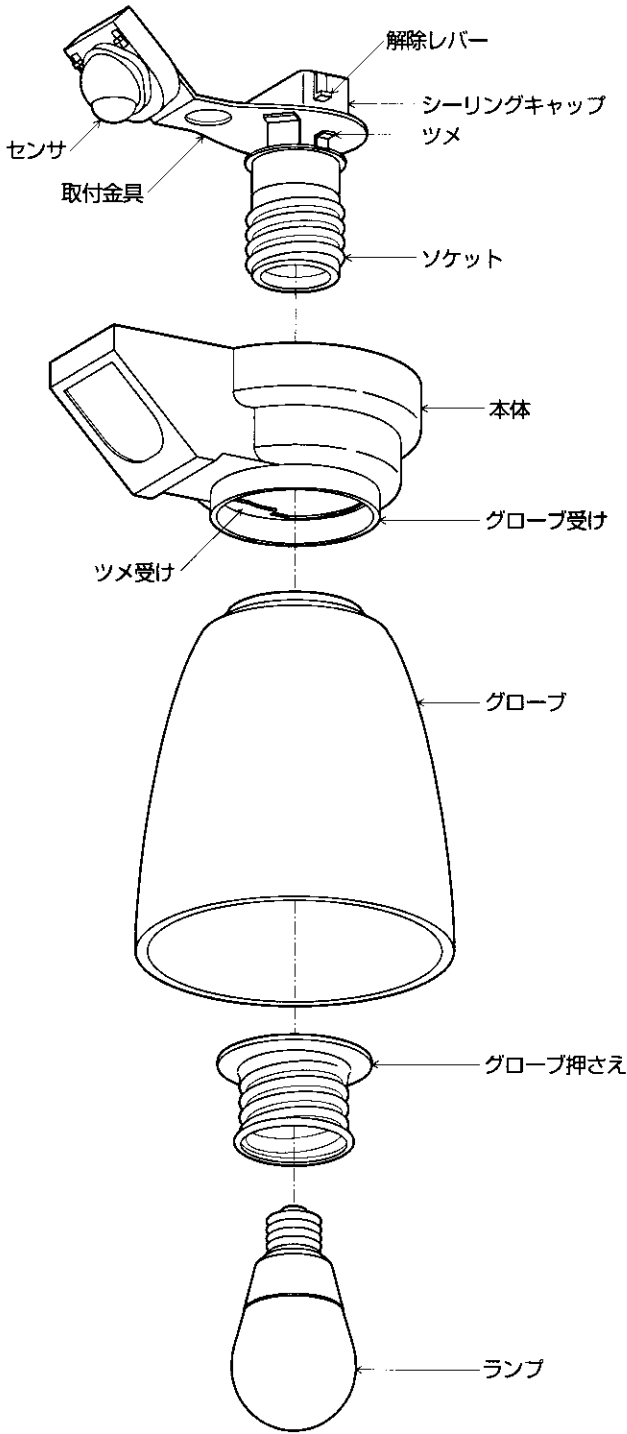
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

※換気扇がある場合、壁スイッチは別に設けてください。

※パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合は、壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

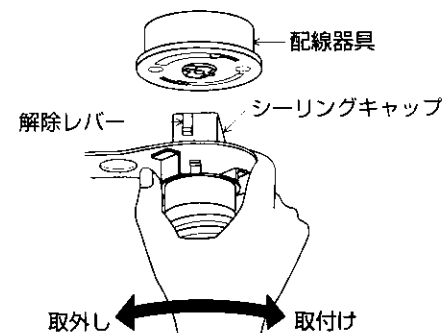
■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



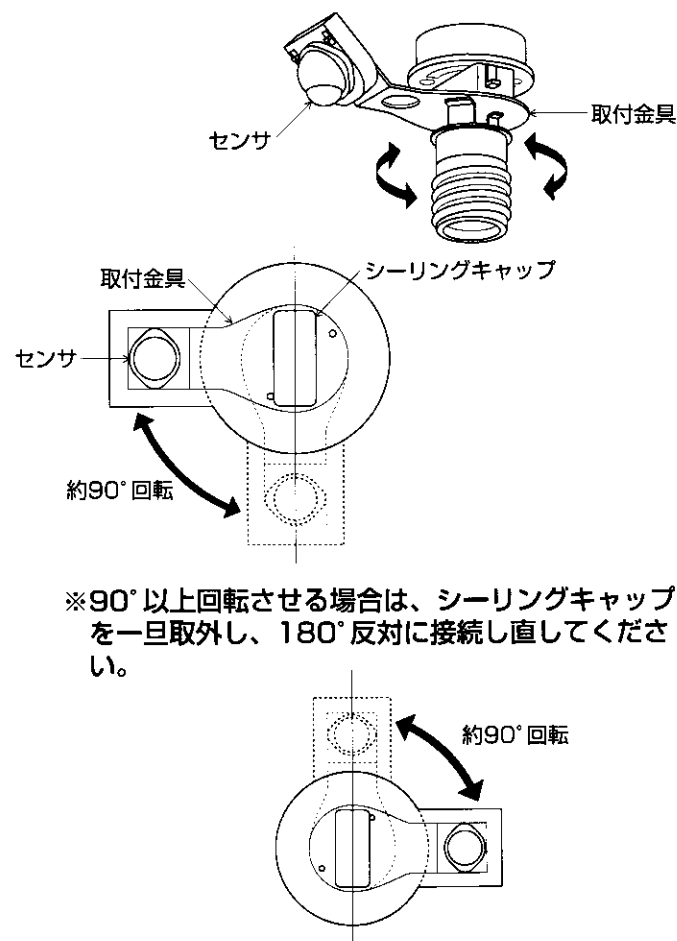
1 シーリングキャップを接続する

※取外すときは解除レバーを下げた状態で左に回す。



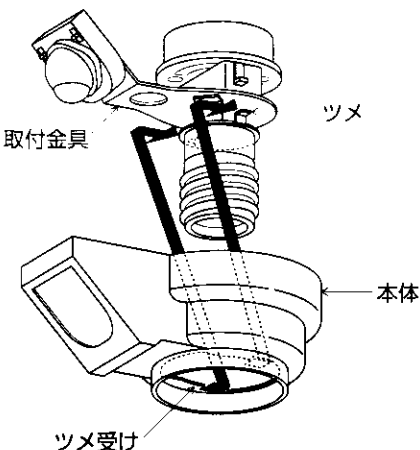
2 センサの方向を調整する

■感知エリアの設定を参考に、取付金具を持って回転させ、センサの方向を調整する。



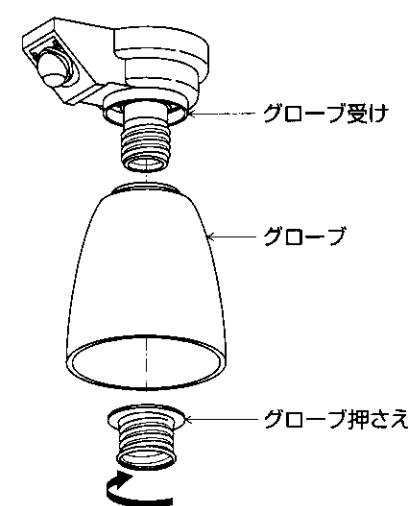
3 本体を取付ける

本体のツメ受けを取付金具のツメに引っ掛け、本体を仮止める。



4 グローブを取付ける

グローブをグローブ受けにはめ込み、グローブ押さえで締め付ける。



5 ランプを取付ける

6 点灯の確認を行なう

■センサの内容

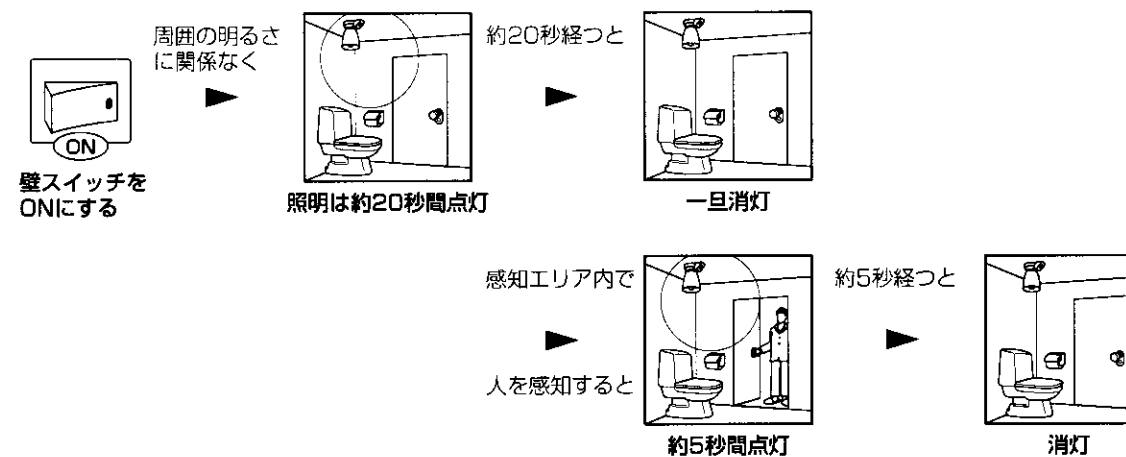
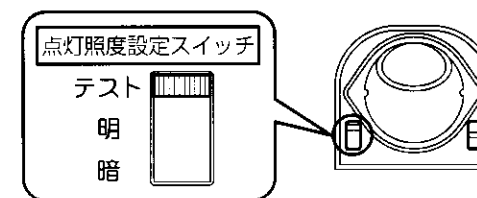
	スイッチ		スイッチ位置	設定内容
	テスト	点灯照度設定 スイッチ	テスト：周囲が明るい状態でも点灯 明：約45 lxで点灯 暗：約15 lxで点灯	人感センサのはたらきは始める周囲の明るさの設定とセンサの動作確認(テスト)ができます。
	長 中 短	点灯時間設定 スイッチ	長：約3分間点灯 中：約1分間点灯 短：約30秒間点灯	人を感知して点灯する時間を設定できます。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

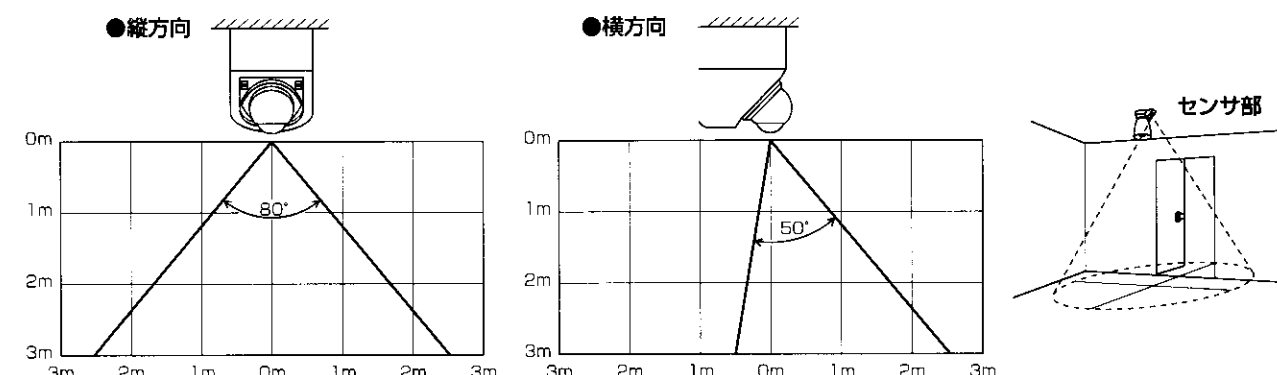
■感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。結線および負荷の作動を確認できます。
- ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に設定した時間点灯します。感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。

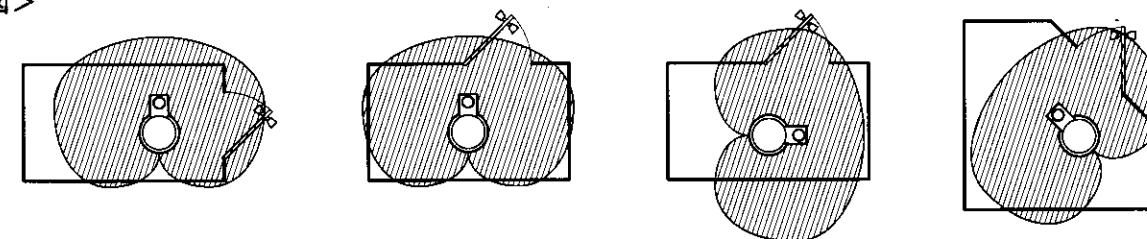


<感知エリア図>



・器具取付け位置はドアの位置や開閉方向により感知しにくくなる場合があります。感知しにくい場合は、センサや本体を回転させて調整してください。

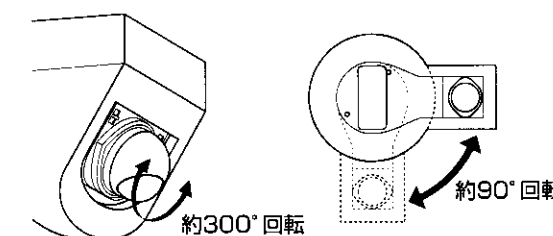
<取付位置図>



- センサは、約300°回転します。
- 本体は、約90°回転します。

※取付け高さは器具底面が床面から1.5m以上3m以下になるようにしてください。
 ※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。
 ※器具取付け位置は感知エリアを十分検討の上設定してください。
 ※調整範囲以上無理に動かさないでください。

※エリア確認後は必ず点灯照度設定スイッチを「明」または「暗」にしてください。点灯時間設定スイッチを「中」または「長」にしてください。(点灯回数が多い場所での「中」設定はしないでください。点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。)



■センサの設定

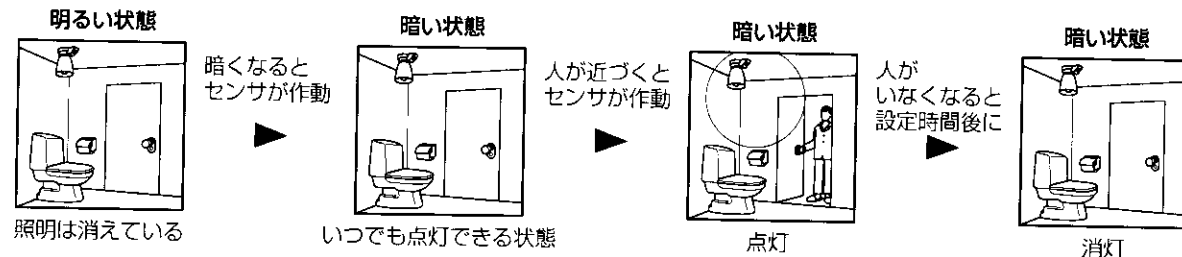
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで点灯時間と点灯照度を設定してください

●センサの動作について

<センサ待機モード>

暗い状態で人が近づくとセンサが感知して点灯します。

※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。



エリア内に人がいてもそのまま動かずにじっとしていると設定時間後に消灯します。暗くなりだしたら、その間に手を動かすなどして再度感知させる動作をしてください。再感知すればまた、明るくなります。

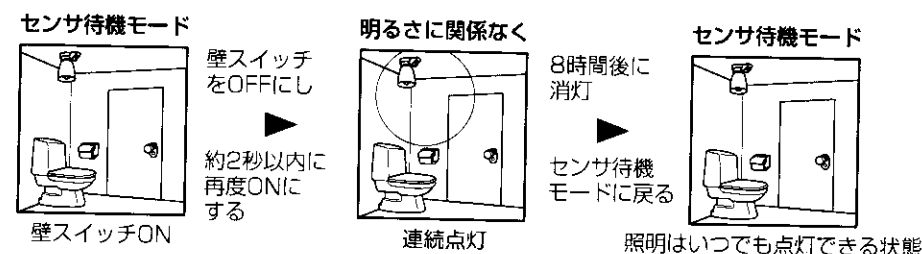
※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。



■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。
- ※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。
- ※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

電源OFF



壁スイッチ：OFF
ランプ：消灯

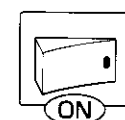
※ご使用の壁スイッチが、押しボタン式など電源のON・OFF状態がわからないタイプの場合は、下記の操作を確実にこなしてください。

人を感知して点灯させたい

長時間(8時間)点灯させたい

センサ待機モード

壁スイッチをONにします。ランプが約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したセンサ待機モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯できる状態

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。

連続点灯モード

壁スイッチをONにします。再度OFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯

※連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的に設定したセンサ待機モードに戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF→ON)を行なった場合、再度その時点から約8時間の連続点灯モードになります。

※センサ待機モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFFにししばらく(約5秒以上)してからONにすると、点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機モードになります。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとプルレス動作が正常にはたらかない場合があります。壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。時間設定スイッチを「長」に調整することをおすすめします。